

I. 言葉を調べる

言葉やことからの調べるための本は多数出版されていますが、ここでは図書館でよく使われる代表的なものをご紹介します。

ジャパンナレッジ

…データベース「ジャパンナレッジ」でも検索できるもの(館内限定)

1. まず調べたいもの…国語辞典

◆代表的なもの

『広辞苑』岩波書店 2018年

総項目数約25万。学術用語・百科全般にわたる言葉を収録しています。

『大辞林』三省堂 2019年

項目数約25万1千。現代語を中心に古語や百科語を含めた総合的な国語辞典です。

◆詳しいもの

『日本国語大辞典』全14巻(別巻を含む) 小学館 2001年～

ジャパンナレッジ

最大規模の国語辞典。項目数約50万。用例が豊富なのが特徴です。方言も約4万語収録しています。

2. 漢字の読みや意味を調べる時…漢和辞典

『講談社新大辞典』講談社 1993年

一冊本としては最大級の漢和辞典。収録字数約2万字。

『大漢和辞典』全15巻(索引、語彙索引、補巻を含む) 大修館書店 1984年

ジャパンナレッジ

最大級の漢和辞典。正字、略字、俗字、国字などを含む親字約5万、熟語約50万を収録。熟語には、故事名言、地名、人名、書名、動植物名なども収録されているので、中国関係の百科事典のような使い方もできます。

『新潮日本語漢字辞典』新潮社 2007年

従来の漢文を読むための「漢和辞典」ではなく、日本語としての漢字を引くための辞典。用例は日本文学を中心として採集されています。

3. 昔の言葉を調べる時…古語辞典

『角川古語大辞典』全5巻 角川書店 1982年

ジャパンナレッジ

上代から近世末までの日本古典文学作品から広く語彙を採録した古語大辞典。図版も多数収録。

『江戸語大辞典』講談社 2003年

江戸市民の日常語3万語を収録。

4. 最近の言葉やカタカナ語を調べる時…新語辞典

『現代用語の基礎知識』自由国民社 <年刊>

ジャパンナレッジ

政治、経済から文化、風俗まで幅広い分野の言葉が収録されています。最新版だけでなく、古い版もその当時の社会情勢、流行語などがわかるので役立ちます。

『朝日キーワード』朝日新聞出版 <年刊>

幅広いジャンルから現代社会を知るために必須の「キーワード」を厳選した現代用語集です。

『朝日現代用語・知恵蔵』(電子版) 朝日新聞社

冊子体は2007年版で絶版となりましたが、電子版を当館契約商用データベース『朝日新聞クロスサーチ』または「コトバンク」(無料のインターネット百科事典)で利用できます。

5.ことわざ、慣用句を調べるとき

『故事俗信ことわざ大辞典』小学館 2012年 ジャパンナレッジ
わが国で最大規模を誇ることわざ辞典です。詳細な解説のほかに用例も多数紹介。
『成語林 故事ことわざ慣用句』旺文社 1992年

Ⅱ.ことがらについて調べる

1.まず調べたいもの…百科事典

あることがらについて何を調べたらよいかわからないときに、調査の第一歩となるのが百科事典です。簡潔にまとめられているため、調べたいことの概要を要領よく調べることができます。また、著者や参考文献が示されている場合は、それらを手がかりに調査範囲を広げることができます。

『日本大百科全書』全26巻（補巻を含む）小学館 1984年～ ジャパンナレッジ
カラー図版が多く、参考文献も必要に応じて挙げられています。出版年は古いですが、日本の社会環境と文化が強調されている辞典です。

『世界大百科事典』全35巻（地図帳2冊、アルマナック1冊を含む）平凡社 ジャパンナレッジ
2007年～
総項目数約9万、索引項目約49万の大百科事典です。約7000名の執筆者全ての記載があります。

『ブリタニカ国際大百科事典』全21巻 ティビーエス・ブリタニカ 1995年～
英語の代表的な百科事典に、日本で項目を追加、改訂した事典。補遺版として『ブリタニカ国際年鑑』が毎年発行されています。

*使い方のポイント

索引から引いてみましょう。探している言葉を見出し語から引くのではなく、巻末（複数巻のときは最終巻）の「索引」から引くと、見出し語の項目以外にも解説がある場合や、見出し語にはなっていない言葉も探せる場合があります。

2.専門用語の場合…各分野の専門辞典

関係する分野がはっきりしている場合は、専門の事典で探すと、より詳しい情報を得ることができます。百科事典と同じように、著者や参考文献から調査を進めることもできます。
（例）金融・経済用語辞典、世界地名大事典、日本古典文学辞典など

Ⅲ.データベースで調べる 館内限定



ジャパンナレッジ ご利用は中央カウンターでお申し込みください。無料で利用できます。

日本語や歴史を深く掘り下げて知識を得られる辞典から、英語だけにとどまらない各外国語辞書や東洋文庫などの叢書まで、あらゆる項目の一括検索が可能です。

調べ方ガイドで紹介した資料のうち、ジャパンナレッジで閲覧可能なものには ジャパンナレッジ のマークをつけています。

【その他収録コンテンツ例】

『デジタル大辞泉』『字通』『日本方言大辞典』『日本歴史地名体系』『ランダムハウス英和大辞典』『医学英和辞典』『プログレッシブビジネス英語辞典』『小学館 独和大辞典 第2版』『ポケットプログレッシブ中日・日中辞典』『岩波世界人名大辞典』『朝倉数学辞典』『法律用語辞典』 など多数。

知りたい言葉やことがらがあるときは、まずジャパンナレッジで検索するのがおすすめです。

